

的な要因が大きいいことがわかった。
「虐待」という文字を読み、昔、家族である飲食店へ行った時のことを思い出した。確か通路を挟んで向かい側の席に母親と子供が二、三人座っていた。だが、その母親は終始不機嫌そうでした。子供に対して何度も怒鳴っていました。泣いている子もいれば気にしていない様子の子もいた。どこか驕の一線を超えているような気がして胸が苦しくなり、箸が進まなかった。もうその家族と出会うことはないと思いが、何もできず、見ているだけでごめん」と思ったことは、今でも忘れることができません。家庭環境という運命的なものが原因で人生が狂ってしまいう人たちがいる。実際、親から虐待など家庭環境が原因で事件になることは多く、その中には自分と年が近い人もたくさんいてとても辛い。親が子供の未来を奪ってしまいうなんて絶対にあってはならないこと

「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の最後には三人の
もとに、当時の店主から「白紙なのだから、
どんな地図だって描けます。すべてがあなた
次第なのです。」という手紙が届く。三人は、
「金も学歴もコネもない」という理由で悪事
に手を染めており、途方に暮れていたのだが
この言葉をきっかけに希望を抱き始めた。私
はそこから、犯罪者でも温かい言葉や支援が
あれば希望を抱くことができ、いつでも社会
復帰が可能であることを実感したと同時に、
私は更生保護について何も知らないことに気
がついた。
そして、更生保護について自分なりに情報
収集していくうちに、「BBS会」という
「様々な生きづらさを抱えた子ども・若者が
なりたい自分の将来像を描き、主体的に自ら
の人生を切り拓き、自己表現を遂げていける
よう、一人ひとりに寄り添い、伴走し、その
支えとなっていく青年ボランティア活動」が
あることを知った。（特定非営利活動法人日

く	え	子		き	を	し	は	れ	れ	割	受	も	を	た	更	護	を		本
の	る	供	生	た	な	い	、	て	は	と	け	社	終	い	生	に	迎	あ	B
だ	こ	、	き	い	く	こ	ボ	い	は	高	て	会	え	と	保	つ	え	と	B
と	と	若	づ	。	し	と	ラ	い	は	く	し	の	て	思	護	い	、	二	S
私	が	者	ら		、	を	ン	な	が	な	、	の	出	う	の	子	年	も	連
は	で	た	さ		誰	感	テ	い	更	っ	こ	強	所	よ	ポ	供	も	盟	の
思	き	ち	を		も	じ	ィ	こ	生	て	と	い	し	う	ラ	を	す	の	w
う	れ	の	感		が	て	ア	の	生	し	が	た	人	に	ン	支	れ	e	b
	ば	立	じ		が	い	活	表	活	し	生	に	真	な	テ	え	ば	ペ	ー
	、	ち	て		が	、	動	れ	し	や	活	に	摯	気	ィ	る	、	ジ	よ
	社	直	い		生	社	を	で	は	す	し	今	持	活	に	側	私	り	〜
	会	り	たり		活	会	通	は	な	い	や	の	ち	動	と	は	十	八	歳
	は	を	、		し	の	し	い	か	と	悪	世	が	に	。私	八	歳	に	成
	明	支	、		社	根	て	も	思	噂	い	中	あ	「	は	歳	に	人	
	る	え	非		強	強	多	も	う	の	せ	は	っ	」	更	に	成		
	く	、	行		い	い	く	事	。	い	い	、	て	な	生	り	人		
	な	希	に		し	か	の	実	私	で	差	刑	い	ど	保	人			
	っ	望	陥		て	と	人	だ	ら	別	を	き	き		保				
	て	を	っ		い	思	に	。	ら	を	あ	き	き		保				
	い	与	た		い	う	正		ら	っ	っ	き	き		保				